

平成22年度優秀畜産表彰中央情報交流会
(中国四国ブロック) 開催要領

平成22年7月14日

『**耕畜の有機的連携を支える飼料イネ（高糖分飼料イネ）の
生産と利用の展開**』

1. 開催目的

近年、畜産サイドでは、地域の土地資源を活用した自給飼料の生産拡大が強く求められている。

しかし、経営規模の拡大、経営者の高齢化等で自己経営内での自給飼料の確保については、土地・機械・労力の面からその対応が困難な状況にあり、地域の集落営農法人等との耕畜連携による粗飼料の確保及び早急な体制の整備が求められている。

一方、耕種サイドでは、米の生産調整による転作作物への対応、農地の有効利用等の観点から飼料イネの生産が注目を集めている。

このため、現在、近畿中国四国農業センターで新品種として育種開発が進んでいる画期的な「中国飼198号」など、飼料イネの専用品種及びその栽培技術の解説、飼料イネ（WCS）の特質や給与技術等の解説、地域において収穫・調整の作業を行うコントラクターの整備や耕種部門と畜産部門とのコーディネーターの重要性等具体的な実践事例の紹介等を通じ、飼料イネの生産・利用の拡大と自給飼料の生産拡大に資する。

2. 開催日時及び会場

平成22年8月20日（金） 13:00～17:00

三次ロイヤルホテル 会議室（200人）

広島県三次市十日市東6丁目13-25（TEL. 0824-62-5161）

3. 主催及び共催

主 催 : 社団法人中央畜産会、社団法人広島県畜産協会

共 催 : 農林水産省中国四国農政局

4. 参集範囲

畜産経営者、耕種経営者、県・市町村、団体・農協等職員 等

5. 話題提供及び意見交換

(1) 話題提供者及び内容（予定）

- 1) 飼料イネの新しい品種（中国飼198号）及び新しい系統の今後の方向性について
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

近畿中国四国農業研究センター 低コスト稲育種研究近中四サブチーム
研究員 松下 景 氏

2) 新しい飼料イネ「中国飼 198 号」の飼料特性と消化性について

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 飼養技術研究部
副主任研究員 河野 幸雄 氏

3) 畜種ごとにみた飼料イネ (WCS) の給与方法について

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター
飼養技術研究部長 新出 昭吾 氏

4) 「耕畜連携の架け橋」コントラクターの上手な立ち上げ方と運営について

アグリアシストシステム株式会社 (岡山県津山市)

代表者 石原 聖康 氏

【平成 21 年度畜産大賞地域畜産振興部門 優良賞】

(2) 意見交換 (話題提供者等と会場を交えて、質疑応答、意見交換を行う。)

座長 新出 昭吾 氏

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 飼養技術研究部長

6. 開催スケジュール (予定)

13:00	開会				
13:10~13:50	話題提供	①	松下 景 氏	(40分)	
13:50~14:30	話題提供	②	河野 幸雄 氏	(40分)	
	(休憩10分)				
14:40~15:30	話題提供	③	新出 昭吾 氏	(50分)	
15:30~16:10	話題提供	④	石原 聖康 氏	(40分)	
	(休憩10分)				
16:20~17:00	意見交換	座長	新出 昭吾 氏	(40分)	
17:00	閉会				
17:15~19:15	交流会				